



岩城少年自然の家だより



自然は友だち
青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2023年10月）…1,127,888名
令和5年度の利用者数（～10月末）…8,500名（10月の利用者数…1,183名）

2023.11.24
秋田県立岩城少年自然の家

岩城少年自然の家 創立40周年を迎えて

秋田県立岩城少年自然の家は、昭和58年6月1日に、鳥海山と日本海を一望できる由利本荘市岩城地域、旧由利郡岩城町に県内3番目の自然の家として創設され、おかげさまで、令和5年、40周年を迎えることができました。

これもひとえに、秋田県民の皆様の本所へのご理解とご支援の賜物と職員一同御礼申し上げます。

そして、開所からこの10月までに、のべ112万人を超える皆様にご利用いただきました。衷心より感謝申し上げます。

これからも、お子様から大人までさまざまな年代が集う岩城少年自然の家を目指し、皆様にご満足いただける事業を展開してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年11月24日

秋田県立岩城少年自然の家 所長 須田 昌樹
職員 一同

ファミリーキャンプ…自然の家で秋色に染まる🍁

主催事業である「ファミリーキャンプ～秋暮るる…焚き火、鍋、紅葉 自然の家で秋色に染まりたい…」が11月4日（土）～5日（日）におこなわれ、8家族25名の皆さんが参加しました。

1日目は、各自持参した食材で鍋料理を作りました。また、自然物で飾ったフォトフレームを制作し、個性的な作品が完成しました。イブニングハイクでは家族で描いた絵を貼った提灯をもってコースを散策しました。そして、夕食後の焚き火タイムでは焼きマッシュマロを食しながら暖をとり、秋の夜のひとときを過ごしました。

テントを設営してのキャンプ泊も天気にも恵まれ、秋の夜寒を実感するものとなりました。

2日目の朝は、キャンプ飯で定番のカートンドッグをつくり、その後、晴天の下でネイチャービンゴを楽しみました。

参加者のご家族からは、「子どもたちにキャンプを体験させることができよかった」「自然の中で遊ぶことができよかった」「子どもの成長をみることができよかった」などの感想をいただきました。ありがとうございました。



鍋料理づくり



テント設営



自然物工作



提灯づくり



焚き火タイム



ネイチャービンゴ

出前講座…大好評実施中！

今年はキャンプセンターを10月31日に閉じました。ご利用ありがとうございました。そして、これから岩城少年自然の家では、会場へスタッフが直接出向いておこなう、「出前講座」の申し込みが多くなる時期となります。早速、いくつかの団体様から依頼をいただき、実施いたしました。どの講座でも大好評を得ております。

こちらは、スタッフの派遣に係る費用は一切かかりません。(ただし、自然物工作等に関しては材料費をいただいております。)

岩城少年自然の家のホームページに案内がございますのでQRコードからアクセスしてみてください。



出前講座HPへ



10月26日 新山小学校 様



10月28日 岩城総合支所 様



10月30日 だと児童クラブ 様

【出前講座 人気プログラム】

- ①ふれあいゲーム
- ②自然物工作
- ③防災教室

幼児から大人まで
楽しみ(学べ)ます！



9月20日
稲川支援学校 様



10月30日
おいわけ児童クラブ 様

12月の予定

(受入団体等)

亀田保育園

15日(金)

(主催事業)

オープンデー

17日(日)

※創作プログラム、特別プログラムがあります。



(出前講座)

由利本荘市科学フェスティバル	2日(土)
木のおもちゃ館	3日(日)
こども園ふじ	5日(火)
岩城小学校	7日(木)
本荘北・本荘東・由利中学校	8日(金)
西目公民館	9日(土)
岩城公民館	10日(日)
ゆり支援学校	14日(木)



所長室の屋根の軒先の裏面にある天井(軒天)にアオゲラ(キツツキの仲間)がトントン…とリズムカルについで穴を開けています。【写真】

専門家の話によりますと、営巢の時期でない今頃でもこのように穴を開ける習性なのだそうです。また、地元の建設業の方の情報によれば、一般住宅でも軒天に穴を開けられることがあり、取り替えてもまたつつかれているそうです。(須田)



ホームページや
Facebookで
情報をチェック！



岩城少年自然の家HP



岩城少年自然の家FB